



総務文教常任委員会行政視察報告

浅尾 公厚



日程 平成28年6月9日

視察先 四万十市不破上町1949番地1「スクールミール中村南」

課題 学校給食センターについて

平成28年6月9日、総務文教常任委員会・学校教育課と四万十市「スクールミール中村南」学校給食センターの視察に行く。

このセンターは平成21年運用開始とのこと。運用開始までには、給食費の問題、アレルギー問題、食材の地産地消、等々諸問題を長年にわたり研究、研修を重ねて今日に至ったと職員の方達から詳しく説明を受ける。職員の方達が取り組んできた運用開始までの過程が力強く伝わってきた。

献立についての質問。月1回、児童・生徒のリクエスト食を取り入れているとの事で大変感心しました。

食材については、地産地消であり無農薬の食材を使う事に徹底していた。配送にもかなり神経を使っており、外気に触れる時間を短くし素早く積み込みをしていた。

食事。味は大変美味しく全員が完食した。ひとつ魚の料理について質問する。何故焼き魚にしないのかと。火の元の問題であろうか、オール電化なので「蒸す」だけの料理になると言う。

これから清水も給食の運用を開始するが、献立に児童・生徒のリクエストを取り入れていただきたい。そして清水は魚の街、鯖の街であります。清水で水揚げされた魚の献立を。

また美味しさを出すのは「焼き」が一番ではないだろうか。電気で焼く調理台もあると思います。

料理のおりに出る野菜くず、かなりの量が出来ると言う。特別な容器に入れ堆肥を作り、無農薬生産している農家の方達に使っていただいているそう。残り物のリサイクルも徹底している。

運用開始にむけて出発した「清水給食センター」先進地が取り組んできた過程を多いに参考にさせていただきたい。地産地消、安心安全な、そして特色のある「食」を月1回でもいいのでお願いしたい。この視察を多いに活かしていただきたい。

スクールミール中村南での視察は短時間ではあったが驚嘆することばかりで大変に有意義な行政視察になりました。